

科目名 Course Name	メディカルセラピー Medical therapy			ナンバリング No.	D1-006		
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	古川 貴子						
連絡方法	C-Learning にて対応。オフィスアワーは担当教員より説明する。						
必修/選択	選択(医療事務フィールドの学生のみ履修可。他フィールドの学生は履修不可。)						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>授業の概要</p> <p>メディカルアロマセラピーは薬品の投与など医療手段のみに頼らず、穏やかに人間の治癒力を引き出す力を持っている。他にはリラクゼーション目的でアロマを使いマッサージを施術することも主流とする。この授業では香りが心と体に与える影響について知識を習得し、生活に取り入れる方法や心身の健康に役立てる方法をグループワークで実践していく。</p> <p>到達目標</p> <p>① アロマセラピーの基本的な使い方が説明できるようにする。</p> <p>② 自身のリフレッシュできる香りを学び、日常生活に取り入れることができるようにする。</p> <p>香りとメンタルケアの関係についてグループワークを通して様々なケースを理解できるようにする。</p>						
授業の方法	講義と実習 グループで植物から精油までの過程を体験する。						
学習成果	L01	精油の安全な使い方やアロマセラピー、利用分野について説明できる。					
	L02						
	L03	心身の健康や日常生活にアロマセラピーを役立てることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	課題提出後、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	授業内でプリントを配布						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実習のための材料費が必要となる。(3,000 円程度)。</li> <li>● 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</li> </ul>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	積極的に授業に取組み質問をしている。	10			
レポート/作品	作品は期日までに提出していること。	20			
発表	グループワークでの発表	20			
小テスト					
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。			20	
その他	作品の内容によって評価する			30	
合計		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、アロマセラピーについて、香りのイメージ体験
	事前・事後学習	アロマセラピーの定義を暗記する。
2	授業内容	ハーブの植え付け
	事前・事後学習	様々なハーブの種類について考える。
3	授業内容	身近なハーブの活用法を学習する
	事前・事後学習	香とメンタルの関係について考える。
4	授業内容	精油の効果について
	事前・事後学習	今の自分に合った香を選んでおく。
5	授業内容	精油を使用したバスソルトの作成 ①
	事前・事後学習	ハーブの特性を予習しておく。
6	授業内容	精油を使用したバスソルトの作成 ②
	事前・事後学習	ハーブの特性を予習しておく。
7	授業内容	ルームスプレー作り ①
	事前・事後学習	心身の健康に影響を与えるアロマの活用法を調べておく。
8	授業内容	ルームスプレー作り ②
	事前・事後学習	精油の成分を分析する。
9	授業内容	タペストリー作成 1回目
	事前・事後学習	どのような作品にするかをイメージしておく。
10	授業内容	タペストリー作成 2回目
	事前・事後学習	アロマと光の空間を考える。
11	授業内容	タペストリー作成 3回目
	事前・事後学習	使用する香の効果の説明ができるようにする。
12	授業内容	アロマと空間(グループワーク) I
	事前・事後学習	医療機関における空間リサーチ。
13	授業内容	アロマと空間(グループワーク) II
	事前・事後学習	医療機関における空間リサーチ。
14	授業内容	アロマセラピーに関する法律 作品発表
	事前・事後学習	発表に向けた準備
15	授業内容	タペストリーについて 視覚、聴覚、嗅覚の総合的作品の発表
	事前・事後学習	発表での感想をまとめて提出をする。